



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 名

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・企画部長

(氏名) 松井 大輔

TEL 0763-33-1212

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	42,414	21.2	1,340	△49.4	1,915	△23.5	1,728	17.2
23年3月期第3四半期	35,003	50.5	2,648	17.7	2,503	9.9	1,474	△32.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,542百万円 (5.7%) 23年3月期第3四半期 1,459百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	235.28	—
23年3月期第3四半期	190.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	34,800	14,841	39.9	1,900.77
23年3月期	29,903	13,050	43.6	1,689.47

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 13,871百万円 23年3月期 13,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	13.1	2,100	△41.8	2,600	△24.0	2,300	2.2	313.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社 （社名） サンエツ金属株式会社 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	8,867,000 株	23年3月期	7,903,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,569,349 株	23年3月期	178,089 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	7,346,239 株	23年3月期3Q	7,734,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から立ち直る局面にありましたが、タイの洪水に伴う部品調達難、欧州債務危機、長引く円高、中国の景気減速などが、景気の足を引っ張りました。また、主要原料である銅の価格は、期首から高値圏で推移していましたが、昨年9月下旬に、急落しました。

このような経営環境のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）は、他社との事業提携などにも機動的に対応できるようグループの再編に着手しました。まず、平成23年4月1日に、シーケー金属株式会社の議決権の過半数を取得して連結子会社化し、当社グループの「配管・鍍金事業」と位置付けました。また、平成23年10月3日、当社の社名を、株式会社CKサンエツに変更し、会社分割の方法により自らを純粋持株会社化すると同時に、事業子会社サンエツ金属株式会社を設立して、持株会社制への移行を完了しました。さらに、平成23年12月14日、当社及び事業子会社シーケー金属株式会社は、業界再編の推進と相乗効果の追求を目的として、株式会社リケンと、配管機器の製造拠点を統合して、株式会社リケンCKJVを設立することに合意しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、上期の銅相場が高めに推移し、また、シーケー金属株式会社を連結したため、売上高は、424億14百万円（前年同四半期比21.2%増加）となりましたが、原料相場差損（前年同四半期は差益）が発生したため、営業利益は、13億40百万円（同49.4%減少）となりました。経常利益は、銅相場が下落したことで発生したデリバティブ評価益5億32百万円を営業外収益に計上しましたが、19億15百万円（同23.5%減少）となりました。なお、四半期純利益は、シーケー金属株式会社の連結子会社化により、負ののれん発生益など特別利益6億55百万円を計上したため、17億28百万円（同17.2%増加）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、従来の「黄銅棒・線」については、「伸銅」にセグメント名称を変更しました。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

①伸銅

伸銅事業では、販売量は6万2,386トン（前年同四半期比6.3%増加）となり、売上高は、上期の原料相場が高値だったこともあり、363億20百万円（同11.7%増加）となりましたが、前年同四半期に生じた原料相場差益が発生しなかったため、セグメント損益は、13億98百万円（同45.8%減少）のセグメント利益となりました。

②精密部品

精密部品事業では、5月に新工場が稼動し、販売量が増加したため、売上高は、29億33百万円（前年同四半期比18.2%増加）となりましたが、原料相場差損が発生したため、セグメント損益は、53百万円（同0.1%減少）のセグメント利益となりました。

③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、業界における価格競争が激化したため、売上高は、31億60百万円となり、セグメント損益は、1億82百万円のセグメント損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、増収に伴う売上債権の増加やシーケー金属株式会社を連結子会社化したことに伴う有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ48億96百万円増加し348億円となりました。負債につきましては、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末に比べ31億6百万円増加し199億58百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払による利益剰余金の減少はありましたが、四半期純利益17億28百万円の計上などにより、前連結会計年度末に比べ17億90百万円増加し148億41百万円となりました。

この結果、自己資本比率は39.9%（前連結会計年度末は43.6%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の業績予想の詳細につきましては、平成24年2月6日に開示しました、業績予想の修正に関するお知らせをご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、持株会社制移行に伴い、新たに新設分割方式の会社分割によりサンエツ金属株式会社を設立し、同社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	197	745
受取手形及び売掛金	14,080	14,748
商品及び製品	2,844	3,584
仕掛品	2,836	2,921
原材料及び貯蔵品	2,555	2,090
前払費用	65	60
繰延税金資産	303	348
その他	191	690
貸倒引当金	△28	△30
流動資産合計	23,047	25,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,384	6,100
減価償却累計額	△1,822	△3,136
建物及び構築物（純額）	1,561	2,963
機械装置及び運搬具	11,312	15,805
減価償却累計額	△10,257	△14,069
機械装置及び運搬具（純額）	1,054	1,736
土地	2,987	3,994
建設仮勘定	357	60
その他	605	1,643
減価償却累計額	△550	△1,540
その他（純額）	54	103
有形固定資産合計	6,016	8,857
無形固定資産		
その他	53	52
無形固定資産合計	53	52
投資その他の資産		
投資有価証券	749	676
長期前払費用	26	14
その他	98	155
貸倒引当金	△88	△115
投資その他の資産合計	786	730
固定資産合計	6,855	9,641
資産合計	29,903	34,800

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,640	3,291
短期借入金	10,100	12,950
1年内返済予定の長期借入金	—	58
未払金	76	259
未払費用	387	511
未払法人税等	1,140	283
賞与引当金	408	374
設備関係支払手形	214	233
その他	48	260
流動負債合計	16,016	18,223
固定負債		
長期借入金	—	557
繰延税金負債	118	359
再評価に係る繰延税金負債	373	326
引当金	344	492
固定負債合計	835	1,735
負債合計	16,852	19,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,387	2,756
資本剰余金	2,303	2,588
利益剰余金	7,827	9,479
自己株式	△88	△1,492
株主資本合計	12,429	13,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	△5
土地再評価差額金	473	519
為替換算調整勘定	28	25
その他の包括利益累計額合計	621	539
少数株主持分	—	970
純資産合計	13,050	14,841
負債純資産合計	29,903	34,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	35,003	42,414
売上原価	31,062	39,087
売上総利益	3,940	3,327
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	538	642
給料及び手当	287	538
その他	465	805
販売費及び一般管理費合計	1,291	1,986
営業利益	2,648	1,340
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	21
デリバティブ評価益	—	532
その他	35	141
営業外収益合計	51	695
営業外費用		
支払利息	47	56
為替差損	30	22
デリバティブ評価損	102	—
その他	17	40
営業外費用合計	196	119
経常利益	2,503	1,915
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	—	576
段階取得に係る差益	—	64
補助金収入	9	9
その他	—	5
特別利益合計	9	655
特別損失		
固定資産除却損	1	13
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	0	—
特別損失合計	2	13
税金等調整前四半期純利益	2,511	2,557
法人税等	1,036	933
少数株主損益調整前四半期純利益	1,474	1,624
少数株主損失(△)	—	△103
四半期純利益	1,474	1,728

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,474	1,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△125
土地再評価差額金	—	46
為替換算調整勘定	△13	△2
その他の包括利益合計	△14	△81
四半期包括利益	1,459	1,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,459	1,646
少数株主に係る四半期包括利益	—	△103

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	32,521	2,481	35,003
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,172	1,208	3,381
計	34,694	3,690	38,384
セグメント利益	2,580	53	2,634

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,634
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	2,648

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	36,320	2,933	3,160	42,414
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,902	1,683	1	4,586
計	39,222	4,616	3,162	47,001
セグメント利益又は損失（△）	1,398	53	△182	1,269

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,269
セグメント間取引消去	141
全社費用	△71
四半期連結損益計算書の営業利益	1,340

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。これは平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社を連結子会社化したことに伴い、同社の資産を報告セグメント「配管・鍍金」に計上したことによるものです。

前連結会計年度末に比べて増加したセグメント資産の金額は「配管・鍍金」が5,483百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間においては、平成23年4月1日付でシーケー金属株式会社を連結子会社化したことに伴い、報告セグメントは従来の2事業から「配管・鍍金」を加え3事業となりました。また、従来の「黄銅棒・線」については、「伸銅」にセグメント名称を変更しました。なお、当該変更は名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月26日付で、釣谷宏行、伊勢晴之、渡信行、川崎駿一、他12名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が369百万円、資本準備金が368百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,756百万円、資本準備金が2,671百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。